

▼ Webでの書き込みフィールド

Webデータの書き込み位置は、Data Fieldsに、認可番号より前のアドレスを入力のこと。
認可番号フォルダーは、プログラムによって自動的に作成される。

※ メンテナンス画面の右下部



The screenshot shows a green maintenance screen with the title "途中経過Html FTP 情報". It contains the following fields:

- User ID:
- Password:
- Host (Address):
- Data fields:

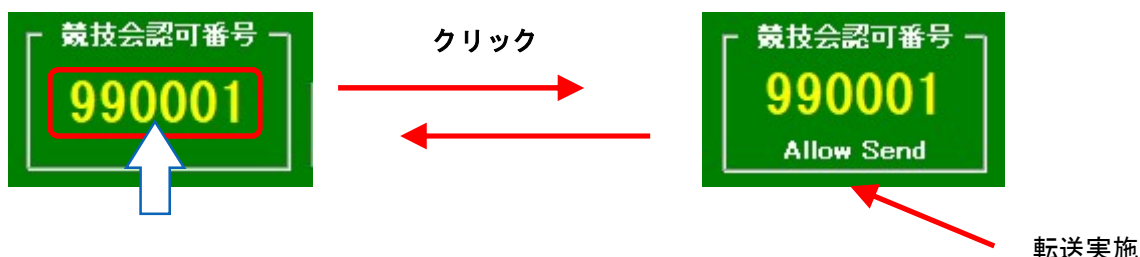
← ここは自動で作成

※サンプル [/home/jdsf/public/](#) 200101/ S200101.html

←この範囲を入力

■ FTP自動転送の実施

- 競技会支援システムでFTPの自動送信機能を実現するには、TOP画面、上部左側にある競技認可番号を、「Alt」キーを押しながら、右クリックして下さい。認可番号の下に、【 Allow Send 】の文字が出たら、自動転送されます。再度、同じ動作をすれば、送信モードがクリアされます、



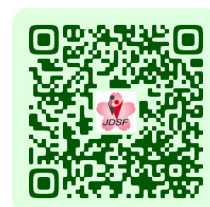
注) メンテナンス画面で「 User iD 」が未設定の場合は、操作出来ません。

■ 参加者への告知

- 認可番号フォルダーの中には、色々なファイルが出来るが、全てのファイルはコントロールのファイルより分岐して閲覧出来るので、競技会の参加者には、そのファイル名を伝えれば良い。従って、Webフォルダー内のコントロールファイルを示すURLを、QRコードなどを使って大会パンフ等で周知すれば良いことになります。(QRコードはデンソーウェーブの登録商標です)

※サンプル [/home/jdsf/public/](#) 990001/S990001.html

= <https://jdst.ne.jp/> 990001/S990001.html



■ FTPエラー

- FTPがエラーを起こした時は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。その場合は、所定の処理をやり直して下さい。やり直せば、問題なく再送出来ます。連続してエラーが発生する場合には、支援システムを、再度立ち上げ直して下さい。尚、エラーが起きても、支援システムの基本動作には影響しません。

以上